

支部協だより

第88号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 ☎098-870-7101
 Fax.098-875-7450
 責任者
 黒島善市

名護市議会議員選挙に感謝

—— 県知事選も頑張ろう ——



会長 黒島 善市

去る9月12日の名護市議選は、辺野古への新基地建設反対の議員が圧勝し、稲嶺市長を支えることが出来ました。北部地区協ならびに会員の皆様に感謝いたします。一地方の議選で、これほど全国的に注目されたことがあったであろうか。

さらに、今年11月にも沖縄県知事選挙がある。日本政府のみならず米政府も、やきもきしている状況だ。それは、日米共同声明の行く末の懸念からに他ならない。

ところで最近、民主主義や民意そして政府とは、と改めて考えさせられる。

私たち沖縄県民は、去るアジア太平洋戦争で、地上戦を体験したということもあり、常に軍事基地に反対し、返還を求めてきた。抗議行動や基

地の撤去・返還を求める県民大会、移設反対の名護市民投票、基地の整理・縮小の県民投票は89%が賛成、県議会を初め各市町村が同様の決議をしている。さらに、昨年の衆議院選、今年の名護市長選、同市議会選の選挙結果を見ても明らかだ。

にもかかわらず、日米両政府は、県民の意思や思いを無視し、米軍基地を押し付け、自らに不利なことは先延ばしし、危険を放置している。

なぜ、政府は県民世論をバックに、日米共同声明の見直しをしようとしなのか。これでは、民主主義を冒涇するものであり、沖縄県民を愚弄し、差別そのものである。

オバマ大統領の「チェンジ」とは、昨年の「政権交代」は何だったのか。私たちは、ひるまず、何度でも訴え、行動しよう。黙認は、政府の政策

を了承したことになり、権力者の思うツボだ。

今回の県知事選は日米両政府が固唾を呑んでみている。またとない「チャンス」だ。

爆音・騒音のない静かな生活を！ 事件・事故におびえない当たり前の生活のために！ 県知事選に勝利しよう。

第12回 総会のご案内

日時 2010年10月18日(月)
 場所 ユインチホテル南城 (旧厚生年金休暇センター)
 第1日目/ホテル行きバス・県庁前出発13時30分
 * 映写会「軍隊のいた島」午後2時30分～
 * 総会開始 午後3時30分～ * 懇親会 午後6時30～
 第2日目/Gゴルフ大会 午前9時～ * 昼食11時40分
 帰途/13時～

2010年度活動方針(案)骨格

安心・信頼・生きがいあふれる21世紀・みんなとともに！

1号議案

はじめに

敗戦後65年、そのほとんどを自民党政権が政治権力を握ってきました。昨年ようやく「政権交代」が実現しました。マニフェストで多くの政策を掲げた新政権は、その実行に取り組み、国民に大きな期待を与えました。

税金の無駄遣いと財政再建を図るための「事業仕分け」や「官僚の天下り廃止」等は、国民の喝采を浴びました。

しかし、沖縄への基地政策では、普天間基地の新基地建設(移設先)を「国外・最低でも県外」とした約束を守ることはしませんでした。またその結果は、新政権鳩山氏の退陣の一因となりました。

「新基地建設反対」の沖縄の確固した民意を示すため、11月の県知事選の勝利をめざして、さらに積極的な取り組みを行います。今、沖縄は、自立し、孫の代まで米軍基地を残すのか、拒否するのか、歴史的な分岐点立っていると思います。頑張らましよう。

一年間の活動を振り返って
 □ 第2回グラウンド・ゴルフ大会を予定していましたが、達成できませんでした。
 ○ 本年度(2011年3月)実施に向け、努力します。

□ 2009年11月28日は、21名の会員が参加して琉歌の「歌碑めぐり」(西側コース)を行いました。吉屋チルーや恩納ナビー、特牛節の命名の由来等の説明を受けて、往時をしのびました。

○ 今年は、琉歌の「歌碑めぐり」・史跡(東側コース)を2011年2月中旬に行います。参加希望者を1月発行の「支部協だより」で募集します。

□ 情報労連主催の「沖縄ピースすてーじ」の「嘉手納基地一周行動」・「戦跡めぐり」・「基地めぐり」学習行動が6月23日～25日に行われました。退職者の会では、全国から12名が参加して、沖縄戦の惨状や米軍基地の実態を実感されたと思われまふ。帰られた後も、沖縄に関心をもたれることを期待します。

□ 沖縄側も「嘉手納基地一周行動」に3人、戦跡・基地学習に2名が参加しました。

○ 久米島の会員(4人)にとつては、退職者の会は遠い存在だったと思われまふ。今年9月に黒島会長と天久幹事を派遣してパークゴルフと懇親会を実施しました。久米島在住会員のサークル活動を開始することをお願いしました。

課題

□ 多種多彩の郷土芸能に秀でた会員が、多数います。また、地域で必要且つ要望されて活躍されている会員が多数います。これらの会員の紹介に努めます。会員の皆様の積極的なご協力をお願いします。原稿依頼だけでなく、インタビュー形式も取り入れます。

□ 沖縄の課題について、特に基地新設問題について「NO!」の意思が示せるよう(11月)「知事選」に勝利しよう。

□ 会員名簿を2年ごとに作成しました。今後、作成年度を2年～4年ごとに作成するよう検討を開始します。記載項目は、従来通り。市町村別に氏名・生年月(日は記載なし)・住所・電話番号の順に記載して、最後に氏名一覧と記載ページ索引をつけまふ。

□ アピール21の拡大に努めまふ。

□ 口座未設定の会員・郵便りの会員のみなさまへ再度協力依頼文書を送付します。ご協力を！

□ 電通共済生協の基本契約が変更になりました。今号の裏面及びNTT労組新聞(ひろがり版)(9月6日、第440号)でお知らせしたように変更となります。(2011年1月1日実施)会員の協力での新制度を見守りたいものです。



トウモロコシ祝い かりーやいびーん

新垣 昭子

汗を流しながら砂糖キビを育て、元気に生き生きとした姿で作物と共存したい。プールで泳いだり、ラージボールをしていたが、長続きしないので目下検討中。趣味はパッチワークを習っています。

洲録 寛

捜し物に時間がかかり、物や人の名前を思い出すのに苦労する日々です。健康法は階段の上り下りを毎日三分間三回と、スクワット五〇回を心掛けています。無理せず、楽せず、そうして振り返らず、静かな日々の暮らしをし、人生の終りの日まで二本箸で食事が出来、二本の足で日常生活が出来れば最高です。

上原 勲

退職後は健康維持のため色々挑戦。新しい友達と毎日楽しく過ごしています。最近耳の調子が悪く返事に困ります。

佐村 博之

健康維持のためウォーキング、ポトト漕ぎ運動。毎月第三金曜日には仲間約三〇名が集い、ビール、泡盛、カラオケ等で命の洗濯をしています。孫は三名。

玉城 正忠

ボウリング、ウォーキング
新城 勝次

宮城 常子

孫三名と卓球等して遊ぶ時はマジになるので、翌日は筋肉痛か神経痛に悩むのですが、でも楽しい毎日です。今が私の青春時代です。
金城 庄市郎
月二回ゴルフ、月一回ボウリング、週二回ウォーキング五km

生き、生き通信 一緒に 楽しみませんか



平成一七年三月、ソリューション営業本部を最後に退職致しました霞本光弘です。
私は現在、写真を趣味とし、幾つかの写真サークルに属しフォトライフを楽しんで居る毎日です。

紹介しますと、「浦添市文化協会」においては写真部会(二八名)に籍を置き、浦添市の写真文化の振興に寄与するため講師登録を行い、依頼があれば写真教室等を開催しています。情報の収集・交換の場としては「沖縄写真連盟」(九〇名)に属し、写真技術の向上に励んでいます。
また、「沖縄電電同友会」からサークル開設の依頼があり、「フォト・サークル」(九名)としてスタートしました。

現役・新役員の紹介

八月十八日(水)、沖縄総支部第九回定期大会が浦添市でホールで開催され、二〇一〇年度活動方針が満場一致で承認されました。
その後、役員選挙が行われて、新役員体制が決定しました。退職者の会では、事務所の貸与をはじめ、日常活動の中で現役の組合から諸種の御協力をいただいています。今後も、現役の皆様との協力、連携活動を強めて行きます。
新役員の氏名と担務は以下のとおりです。

- 濱元盛任 執行委員長(二期目)
- 下里 茂 副執行委員長
- 砂川安弘 事務局長 担当：事務局総括・財政・組織拡大
- 山城英則 執行委員 担当：組織総括・総務総括・議決機関運営
- 国古 徹 執行委員 担当：交渉総括・男女参画推進・事業・グループ対策
- 比嘉敏勝 執行委員 担当：情宣・Frage・組織拡大・教育(チューター団)
- 池間静夫 監査員 担当：総支部監査
- 松田悦子 監査員 担当：総支部監査
- 白道直行 副執行委員長 担当：お世話になりました!! 退任役員の紹介!! 御苦勞様でした。
- 高良恵一 事務局長 担当：宮里政和 交渉部長
- 上原 等 情宣部長 担当：金城栄秀 監査委員

世の中デジタルカメラが普及し、携帯電話から一眼レフカメラと写真人口は増加の一途を辿っています。
ベテランの方、これから始められる方、一緒にフォトライフを楽しみませんか?
連絡先：〇九八・八七〇・七二〇一



退職者共済の変更II 預託金制度の廃止II

「退職者共済の変更II」預託金制度(五万円)の廃止については、すでにその変更される骨格と新たなサービスの中身について、第82号(二〇一〇年三月三〇日)で周知済ですが、全国的な各種会議の議論を経て、最終案が確定しましたのでお知らせします。沖縄県支部協同として、同案に賛成の立場で、退職者の会第12回総会に臨みます。
以下、事務処理日程を含めた骨格を左記のとおり記載します。
(詳細は、N T T 労組新聞九月六日(月)号のひろがり版を読んで下さい)

- 記
- (一) 制度について
 - 一、預託金制度(五万円預託金)を廃止し、新規加入時の一回だけの「入会金五〇〇〇円」を納入する。
 - 二、入会金五〇〇〇円は、七九歳以下の既会員も納入する。(二〇一〇年一月三十一日で八〇歳になる会員は、五万円の預託金は返還されず)
 - 三、すでに五万円を預託されている既会員には、「五万円一五千元四万五千元」を、二〇一〇年一月二一日以降登録口座に振込みます。
 - 四、入会金五万円の納入を拒否する会員は、退職者の会への継続加入は認められません。従って、脱会処理を行い、五万円を返還します。
 - 五、五万円の入会金は、会組織のシステムの運営管理・諸経費等に充当します。
 - (二) 新サービスについて
 - N T T 労組から数億円の助成金
 - や入会金で感謝の品を贈呈し、弔慰金を送ります。
 - ・七〇歳(古希)
 - ：五万円のギフトカード
 - ・七七歳(喜寿)
 - ：八千円のギフトカード
 - ・八八歳(米寿)
 - ：五万円のギフトカード
 - ※会員本人死亡
 - ：弔慰金五万円を送付
 - (三) 事務処理について
 - 一、口座登録の会員……案内文を一〇月初旬までに届けます。
 - 二、四万五千元が返金される口座番号等に変更がなければ「返信不要」です。変更がある方は、一〇月二十九日までに返送して下さい。
 - 三、口座未登録の会員……案内文を一〇月初旬までに届けます。返金の振込先を指定した「銀行名」や「口座番号」等を記入して、一〇月二十九日までに返送して下さい。この返送が遅れますと、四万五千元の返金が来年の一月二一日から遅れて、二月、三月に返金振込みとなります。
 - (四) その他
 - 一、口座登録の会員は、入会金五万円を納入してII返信不要の扱いをするII全会員が引き続き退職者の会員として、御協力していただきますようお願いいたします。
 - 二、口座未登録の会員は、必ず四万五千元の返金金の口座指定が必要です。返信する際には、今後の取扱いもありますので、自動引落し口座の指定もなさいますよう御協力をお願いします。
 - 三、同制度と新サービスは、二〇一〇年一月一日から実施します。

(事務局 長瀬)